

News Release

2025年3月26日

報道資料

印刷業界のサプライチェーンにおける物流 CO₂ 削減に向けた実証実験を開始

～独自のルーティング技術を活用し、「適地生産」時の CO₂ 削減効果を検証～

パイオニアは、株式会社グーフ(本社:東京都品川区、CEO:岡本 幸憲、以下「グーフ」)と印刷業のサプライチェーンにおける物流 CO₂ 排出量削減に向けた実証実験を開始しました。

<背景、課題>

近年、印刷業界では、多品種・小ロットに対応するデジタル印刷の活用や、環境負荷を軽減するグリーンプリンティング製品の採用など、2050年カーボンニュートラルに向けた温暖化対策への取り組みが進んでいます。その一環として、複数拠点を活用して印刷物の配送距離を最短化する「適地生産」が、輸送コストだけでなく物流プロセスにおける CO₂ 排出量の削減につながる有効な手段として注目されています。

<実証実験の概要>

本実証実験では、当社が保有するルーティング技術と、グーフ独自のデジタルプリンティングプラットフォームを活用し、「適地生産」を行った際の輸送時における CO₂ 排出量削減効果の可視化と、その有用性の精査・検証を行います。第一弾として、実在する EC 企業のデータを基に実施した DM(ダイレクトマーケティング)輸送時のシミュレーションでは、適地生産(1拠点→5拠点)を行った場合に最大 82%の CO₂ 削減が見込めることが分かりました。

今後は、さまざまな印刷サービス利用企業と連携し、カタログやノベルティーなども含めた幅広い印刷物、印刷場所や手法の組み合わせを対象とした「適地印刷」の有用性に関する PoC(概念実証)を行い、両社で印刷業界の環境課題を解決する新たなソリューションの可能性を検討していきます。



【1拠点→5拠点生産にした場合の CO₂ 排出量比較】

【「適地生産」により、輸送時に発生する CO₂ 排出量を最大 82%削減】

【グーフについて】

「『紙』の新たな価値を創造すること」をミッションに、デジタルと紙の融合で高付加価値なコミュニケーションの実現を目指し、プリンティング運用の最適化を実現する「GEMiNX(ジェミナス)」をはじめとしたプラットフォームサービスを展開しています。既存の無理・無駄を省き、プリントだからこそ実現可能な質の高いコミュニケーションを、適地・適時・適量運用が可能なテクノロジーと印刷サプライチェーンで提供します。

株式会社グーフ WEB サイト:<https://www.goof.buzz/>

パイオニアのGX活動について：<https://jpn.pioneer/ja/pioneergreenmobilityprogram/?ad=pr>